

代表者名	竹村 達三	所管部課名	農林水産部水産漁港課
所在地	男鹿市船川港台島字鶴ノ先16	設立年月日	平成4年10月16日

【沿革、及び、県の出捐理由】

栽培漁業の推進に関する事業を行うことにより、水産資源の維持増大及び漁業経営の安定を図り、もって漁業の振興に寄与することを目的に県等の出捐で平成4年10月に設立する。

【出捐者】(15年度当初) (百万円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	250.0	49.9
市町村	14	75.0	15.0
その他	13	176.5	35.1
計	28	501.5	100.0

【事業】

主たる業務

アワビ、クルマエビ種苗の生産及び供給。
マダイ、ヒラメの中間育成・放流。
ガザミの斡旋事業。

事業実績 (千尾・千個)

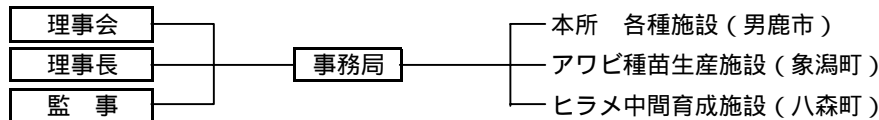
事業名等	12年度	13年度	14年度
アワビ	658	601	592
マダイ	697	817	806
ヒラメ	328	261	215

14年度事業概要、及び、15年度事業計画・目標

事業は計画に基づき、5魚種を生産及び中間育成し、各魚種とも計画以上の配布放流をした。沿岸漁業経営安定のため、今後とも栽培漁業の啓蒙普及と魚貝類の種苗の大型化と大量放流を目指し、技術の研鑽と各種事業の実施に努力する。

【組織】

運営機構



役員数 (人)

	理	事	監	事
常勤				
内、県OB				
非常勤		10		3
内、県OB				
内、県職員		2		
計		10		3
内、県関係者		2		

職員数 (人)

	人数	正職員平均年齢
正職員	3	45歳
内、県OB		
出向職員		
内、県職員		
臨時・嘱託	10	正職員平均勤続年数
内、県OB		
計	13	7年
内、県関係者		

【財務】

損益状況(14年度) (百万円)

	金額
經常収入 A	96
受託事業収入	21
補助金収入	15
自主事業収入	46
運用益収入	8
その他	6
經常支出 B	88
人件費	36
その他	52
經常損益 C = A - B	8
經常外収入	
經常外支出	
当期損益	8

財務状況(14年度末) (百万円、%)

	金額	構成比
流動資産	77	13.2
固定資産	504	86.8
資産計	581	100.0
流動負債	1	20.0
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
引当金等	4	80.0
負債計	5	100.0
基本金	502	88.4
剰余金	74	11.6
資本計	576	100.0
負債・資本計	581	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	4,595	4,584	99.8%

【県の財政支出】 (千円)

	12年度	13年度	14年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	17,010	15,825	14,756	栽培漁業推進事業補助金
委託費	21,495	21,276	21,084	種苗飼育等業務委託費
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	12年度	13年度	14年度	12-13増減	13-14増減
健全性	自己資本比率	%	99.14	99.06	99.03	0.08	0.03
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	3,450.78	4,529.60	7,306.15	1,078.82	2,776.55
収益性	剰余金（欠損金）	千円	53,713	66,448	74,426	12,735	7,978
	経常利益率	%	10.13	12.74	8.35	2.61	4.39
	総資本利益率	%	1.88	2.22	1.37	0.34	0.85
発展性	経常収入額	千円	103,803	99,938	95,529	3,865	4,409
効率性	総資本回転率		0.19	0.17	0.16	0.01	0.01
	職員1人当たり経常収入	千円	7,415	7,688	7,348	273	339
	人件費比率	%	34.20	35.70	37.50	1.49	1.80

2 経営目標の達成状況

経営目標			12年度	13年度	14年度	15年度
経営改善指標	県委託費（千円）	目標				19,700
		実績	21,495	21,152,276	21,032	
事業成果指標	種苗（アワビ）の提供（個）	目標				30,555
		実績	37,876	33,900	33,110	
事業成果指標	種苗（クルマエビ）の提供（千尾）	目標				5,569
		実績	7,208	8,045	7,314	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

補助事業費等の縮小傾向にある中、概ね順調に推移したと思われるが、今後とも漁協及び漁業者の協力を得ながら健全な種苗の生産・育成と冗費の節約に心がけ大量放流を続けたい。

4 総合評価

<p>概ね安定した経営内容</p>	<p>一層の努力を要する経営内容</p>
<p>補助事業の縮小等、今後経営が厳しくなると予想されることから、事務・事業の効率化に配慮する必要がある。</p>	